



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社
 コード番号 3766 URL <https://www.sdcj.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 隈元 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 岡本 芳明

TEL 03-5300-7800

定時株主総会開催予定日 2020年6月23日

配当支払開始予定日

2020年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,354	8.0	273		261		271	
2019年3月期	9,084	9.5	39	81.6	51	78.6	105	21.9

(注) 包括利益 2020年3月期 277百万円 (%) 2019年3月期 87百万円 (44.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	78.25		7.3	4.8	3.3
2019年3月期	30.15		2.7	0.9	0.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	5,077	3,530	69.5	1,037.02
2019年3月期	5,910	3,913	66.2	1,119.39

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,530百万円 2019年3月期 3,913百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	492	27	133	1,945
2019年3月期	132	27	143	2,543

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		13.00	13.00	45	43.1	1.2
2020年3月期		0.00		13.00	13.00	44	16.6	1.3
2021年3月期(予想)		0.00		13.00	13.00		58.6	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,882	6.3	158		163		75		22.20

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	3,940,000 株	2019年3月期	3,940,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	535,185 株	2019年3月期	443,485 株
期中平均株式数	2020年3月期	3,468,816 株	2019年3月期	3,496,565 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,006	7.3	293		286		262	
2019年3月期	6,481	10.5	48		84	27.7	173	108.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	75.63	
2019年3月期	49.53	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,742	3,493	73.7	1,026.10
2019年3月期	5,521	3,866	70.0	1,105.85

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,493百万円 2019年3月期 3,866百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,309	5.0	84		51		15.05

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(当期連結会計年度における重要な子会社の異動)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景として、緩やかながら景気回復基調で推移していましたが、米中貿易摩擦による中国経済の減速や消費税増税に伴う消費動向への影響に加え、今年に入り、新型コロナウイルス感染症の影響を受け個人消費が減少し経済活動が抑制されたことにより、経済環境は不透明感が強まる状況となっております。

当社グループの属する情報サービス分野においては、働き方改革や人手不足の解消に向けた生産性向上への取り組み、セキュリティ対策への意識の高まりから、企業のIT投資は堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、継続案件や新規案件の受注確保、人材育成及び採用活動への投資などに注力しました。また、開発支援ツールを活用した開発業務の効率化やAI、RPA業務など新技術・新サービスへの取り組みを強化してまいりました。一方で、システム開発事業にて不採算案件の収束を図るために一時的な損失を計上しました。

この結果、当連結会計年度における売上高は8,354,369千円（前年同期比8.0%減）となり、営業損失は△273,036千円（前年同期は39,932千円の営業利益）、経常損失は△261,651千円（前年同期は51,175千円の経常利益）、当期純損失は△271,449千円（前年同期は105,421千円の当期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① システム開発事業

システム開発事業につきましては、継続案件や新規案件の受注確保に注力し、第4四半期には高利益案件の検取などもありました。しかしながら不採算案件の収束のため第2四半期に計上した損失が大きく影響しました。また、前年度に子会社が連結範囲から外れたことによる影響もありました。

この結果、当連結会計年度における売上高は4,369,625千円（前年同期比14.7%減）、営業損失は△274,236千円（前年同期は△18,498千円の営業損失）となりました。

② アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、消費税増税に伴う主要顧客からの受注が順調に推移しました。また、前年度に連結範囲に加えた子会社の業績の寄与がありました。一方で、人件費高騰の影響を受け利益率が悪化したサービスがあったこと、一部子会社の業績が低調に推移したことの影響がありました。

この結果、当連結会計年度における売上高は3,984,744千円（前年同期比0.6%増）、営業利益は1,200千円（前年同期比97.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産の残高は5,077,461千円となり、833,000千円の減少となりました。

流動資産においては、682,109千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少597,876千円、受取手形及び売掛金の減少117,238千円によるものであります。

固定資産においては、150,891千円の減少となりました。これは主にのれんの減少85,652千円によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債の残高は1,546,606千円となり、449,899千円の減少となりました。

流動負債においては435,405千円の減少となりました。これは主に未払金の減少117,561千円、受注損失引当金の減少101,227千円によるものであります。

固定負債においては14,494千円の減少となりました。これは主に退職給付に係る負債の減少12,675千円によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は3,530,854千円となり、383,101千円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少316,904千円、自己株式の増加59,971千円によるものであります。

純資産の減少以上に資産が減少した結果、自己資本比率は69.5%（前連結会計年度は66.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純損失が△251,188千円（前連結会計年度は146,177千円の税金等調整前当期純利益）となり、受注損失引当金の増減額△101,227千円、未払金の増減額△117,024千円、法人税等の支払額又は還付額△126,473千円等により、当連結会計年度末には1,945,694千円となりました。その結果資金残高は、前連結会計年度末に比べ△597,876千円の減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は△492,066千円（前連結会計年度は132,369千円の資金の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失の△251,188千円、受注損失引当金の増減額△101,227千円、売上債権の増減額117,238千円、未払金の増減額△117,024千円、法人税等の支払額又は還付額△126,473千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は27,957千円（前連結会計年度は27,639千円の資金の獲得）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△21,992千円、保険積立金の解約による収入56,652千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は△133,767千円（前連結会計年度は△143,423千円の資金の使用）となりました。これは主に自己株式の取得による支出△59,971千円、配当金の支払額△45,454千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による影響から内外経済ともに不透明感が強まる状況となっております。当期においては企業のIT投資は堅調に推移致しましたが、今後の影響度合いを確実に見極めることは困難であり、今後の状況を注視していく必要があります。

システム開発事業においては、新規提案や開発の進捗状況におけるレビュー体制を一層強化することにより、不採算案件の発生を防ぎ、品質向上による高利益案件を目指す取り組みを強化してまいります。また、アウトソーシング事業においては、利益率の悪化したサービスに関して抜本的な改革に着手しており、当期業績が低調に推移した子会社に関しても業務改善を進めております。2021年3月期も引き続き受注確保、品質及び顧客満足度の向上を追求し、着実な収益向上に取り組んでまいります。

以上の見通しに基づき、当社グループの2021年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり見込んでおります。

	連結売上高 (千円)	連結営業利益 又は損失(△) (千円)	連結経常利益 又は損失(△) (千円)	連結当期純利益 又は損失(△) (千円)
2020年3月期	8,354,369	△273,036	△261,651	△271,449
2021年3月期	8,882,794	158,122	163,664	75,582
増減率(%)	6.3	—	—	—

上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、顧客におけるIT投資縮小など様々なリスクや不確定な要素などの要因により、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があります。新型コロナウイルス感染症による業績予想への影響については、現時点で見通せる範囲で織り込んでおります。しかしながら不確定要素が多く存在することから、今後業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示します。なお、現在当社グループでは、感染防止と事業継続の体制維持のため、従業員の在宅勤務や時差出勤を推進しております。現時点で事業拠点の閉鎖はなく、財務の状況についても当面の資金繰りに問題は生じておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面の間日本基準を採用することとしております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,543,570	1,945,694
受取手形及び売掛金	1,547,362	1,430,124
商品及び製品	28,964	29,998
仕掛品	126,005	136,678
原材料及び貯蔵品	16,654	16,326
未収還付法人税等	—	22,648
その他	82,290	81,132
貸倒引当金	△1,140	△1,004
流動資産合計	4,343,708	3,661,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	425,656	421,272
減価償却累計額	△282,523	△285,541
建物及び構築物 (純額)	143,133	135,730
土地	107,273	107,273
リース資産	17,030	5,640
減価償却累計額	△12,766	△2,820
リース資産 (純額)	4,264	2,820
その他	270,306	284,416
減価償却累計額	△228,940	△238,494
その他 (純額)	41,366	45,922
有形固定資産合計	296,038	291,745
無形固定資産		
のれん	557,172	471,519
ソフトウェア	3,361	2,967
その他	7,644	7,644
無形固定資産合計	568,179	482,131
投資その他の資産		
投資有価証券	77,962	53,587
長期貸付金	1,336	1,646
繰延税金資産	325,530	344,343
その他	297,706	242,406
投資その他の資産合計	702,536	641,984
固定資産合計	1,566,753	1,415,862
資産合計	5,910,462	5,077,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,682	33,463
1年内返済予定の長期借入金	25,011	—
リース債務	3,330	3,330
未払金	617,319	499,758
未払法人税等	93,723	17,830
賞与引当金	164,190	165,163
受注損失引当金	203,304	102,076
受託契約関連損失引当金	58,177	—
役員退職慰労引当金	15,490	—
その他	248,339	215,539
流動負債合計	1,472,567	1,037,162
固定負債		
リース債務	6,917	3,587
繰延税金負債	7,154	1,992
役員退職慰労引当金	40,480	45,890
退職給付に係る負債	459,972	447,297
資産除去債務	2,953	3,005
その他	6,460	7,671
固定負債合計	523,938	509,444
負債合計	1,996,505	1,546,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	3,457,056	3,140,152
自己株式	△198,105	△258,077
株主資本合計	3,886,039	3,509,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,118	△3,417
退職給付に係る調整累計額	14,798	25,108
その他の包括利益累計額合計	27,916	21,690
純資産合計	3,913,956	3,530,854
負債純資産合計	5,910,462	5,077,461

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	9,084,205	8,354,369
売上原価	7,584,026	7,223,741
売上総利益	1,500,179	1,130,628
販売費及び一般管理費	1,460,246	1,403,664
営業利益又は営業損失(△)	39,932	△273,036
営業外収益		
受取利息	59	36
受取配当金	2,816	3,200
保険事務手数料	547	443
助成金収入	13,472	5,327
役員報酬返納額	—	1,494
その他	815	1,462
営業外収益合計	17,710	11,964
営業外費用		
支払利息	468	14
支払手数料	6,000	565
営業外費用合計	6,468	580
経常利益又は経常損失(△)	51,175	△261,651
特別利益		
受取保険金	187	10,000
保険解約益	—	3,725
子会社株式売却益	255,535	—
特別利益合計	255,723	13,725
特別損失		
固定資産除却損	562	1,357
保険解約損	1,625	18
減損損失	15,221	1,885
受託契約関連損失	143,312	—
特別損失合計	160,722	3,262
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	146,177	△251,188
法人税、住民税及び事業税	140,957	40,938
法人税等調整額	△100,201	△20,677
法人税等合計	40,755	20,260
当期純利益又は当期純損失(△)	105,421	△271,449
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	105,421	△271,449

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	105,421	△271,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,906	△16,535
退職給付に係る調整額	1,905	10,310
その他の包括利益合計	△18,001	△6,225
包括利益	87,420	△277,675
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	87,420	△277,675
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	333,906	293,182	3,397,091	△197,928	3,826,252
当期変動額					
剰余金の配当			△45,456		△45,456
親会社株主に帰属する当期純利益			105,421		105,421
自己株式の取得				△177	△177
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	59,965	△177	59,788
当期末残高	333,906	293,182	3,457,056	△198,105	3,886,039

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	33,024	12,892	45,917	3,872,169
当期変動額				
剰余金の配当				△45,456
親会社株主に帰属する当期純利益				105,421
自己株式の取得				△177
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△19,906	1,905	△18,001	△18,001
当期変動額合計	△19,906	1,905	△18,001	41,787
当期末残高	13,118	14,798	27,916	3,913,956

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	333,906	293,182	3,457,056	△198,105	3,886,039
当期変動額					
剰余金の配当			△45,454		△45,454
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△271,449		△271,449
自己株式の取得				△59,971	△59,971
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△316,904	△59,971	△376,876
当期末残高	333,906	293,182	3,140,152	△258,077	3,509,163

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	13,118	14,798	27,916	3,913,956
当期変動額				
剰余金の配当				△45,454
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△271,449
自己株式の取得				△59,971
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△16,535	10,310	△6,225	△6,225
当期変動額合計	△16,535	10,310	△6,225	△383,101
当期末残高	△3,417	25,108	21,690	3,530,854

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	146,177	△251,188
減価償却費	20,597	23,952
のれん償却額	77,647	85,652
減損損失	15,221	1,885
子会社株式売却損益(△は益)	△255,535	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,847	973
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,634	△10,080
貸倒引当金の増減額(△は減少)	91	△135
受注損失引当金の増減額(△は減少)	203,304	△101,227
受託契約関連損失引当金の増減額(△は減少)	58,177	△58,177
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,030	2,185
受取利息及び受取配当金	△2,876	△3,237
支払利息	468	14
売上債権の増減額(△は増加)	△166	117,238
たな卸資産の増減額(△は増加)	△60,124	△11,379
仕入債務の増減額(△は減少)	21,208	△10,218
未払金の増減額(△は減少)	△12,316	△117,024
その他	44,425	△38,048
小計	246,118	△368,815
利息及び配当金の受取額	2,643	3,237
利息の支払額	△468	△14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△115,924	△126,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	132,369	△492,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,959	△21,992
無形固定資産の取得による支出	△1,346	△1,464
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△149,772	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	215,191	—
保険積立金の積立による支出	—	△5,602
保険積立金の解約による収入	—	56,652
その他	△5,474	364
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,639	27,957
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△99,996	△25,011
自己株式の取得による支出	△177	△59,971
配当金の支払額	△45,456	△45,454
その他	2,206	△3,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,423	△133,767
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,585	△597,876
現金及び現金同等物の期首残高	2,526,985	2,543,570
現金及び現金同等物の期末残高	2,543,570	1,945,694

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当期連結会計年度における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「システム開発事業」及び「アウトソーシング事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「システム開発事業」は、システムインテグレーション、ソリューションを行っております。

「アウトソーシング事業」は、データエントリーサービス、ライブラリーサービス、ビジネスプロセッシングサービス、コンタクトセンターサービス、プロダクトサービス、ID/ICカード発行ソリューションサービスを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			全社	連結 財務諸表 計上額
	システム開発	アウトソーシング	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	5,124,904	3,959,301	9,084,205	—	9,084,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,124,904	3,959,301	9,084,205	—	9,084,205
セグメント利益又は損失 (△)	△18,498	58,431	39,932	—	39,932
セグメント資産	1,659,950	1,695,397	3,355,348	2,555,113	5,910,462
その他の項目					
減価償却費	8,911	11,686	20,597	—	20,597
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	12,719	18,018	30,737	—	30,737

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			全社	連結 財務諸表 計上額
	システム開発	アウトソーシング	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	4,369,625	3,984,744	8,354,369	—	8,354,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,369,625	3,984,744	8,354,369	—	8,354,369
セグメント利益又は損失 (△)	△274,236	1,200	△273,036	—	△273,036
セグメント資産	1,499,852	1,662,950	3,162,803	1,914,657	5,077,461
その他の項目					
減価償却費	9,600	14,352	23,952	—	23,952
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	4,465	9,826	14,292	8,628	22,920

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ピー・シー・エー(株)	1,002,026	システム開発・アウトソーシング

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ピー・シー・エー(株)	1,069,376	システム開発・アウトソーシング

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	システム開発	アウトソーシング	全社	合計
減損損失	—	15,221	—	15,221

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	システム開発	アウトソーシング	全社	合計
減損損失	—	1,885	—	1,885

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	システム開発	アウトソーシング	全社	合計
当期償却額	25,008	52,639	—	77,647
当期末残高	156,300	400,872	—	557,172

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	システム開発	アウトソーシング	全社	合計
当期償却額	25,008	60,644	—	85,652
当期末残高	131,292	340,227	—	471,519

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,119.39円	1,037.02円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	30.15円	△78.25円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益又は潜在株式調整後1株当たり当期純損失(△)については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	105,421	△271,449
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	105,421	△271,449
普通株式の期中平均株式数 (千株)	3,496	3,468

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(役員の変動)

1. 代表取締役の変動

該当事項はありません。

2. その他の役員の変動

・新任監査役候補

非常勤監査役 大久保 映貴

・退任予定監査役

非常勤監査役 下島 正

3. 昇格予定取締役

常務取締役 岡本 芳明 (現 取締役)

4. 就任及び退任予定日

2020年6月23日